

コロナ禍から考えるゆるやかなつながりと 社会的孤立予防・見守り対策

昨今、新型コロナウイルス感染症により人との接触を避けることが日々求められるようになりました。結果として、高齢者の「社会的孤立」の深刻化が懸念される一方で、これまでと異なる形でのつながりのあり方が見えつつあります。

この研修では、コロナ禍の変化を改めて理解し、今後求められる高齢者の社会参加や新たなつながりづくりに向けたヒントを得ることを目的とします。

地域包括支援センター職員研修は、区の必須研修となっております。各センターから、必ず1名以上はご受講ください。また、社会福祉士の方だけでなく、その他の職種の方もご受講いただけます。

1. 研修方法 Zoomによるオンライン研修
 ※事前にお送りする参加用URLよりご参加ください。
2. 日 時 令和3年12月23日（木） 14:00～16:00
3. 内 容 (1) コロナ禍の地域の変化を知る
 (2) 事例からゆるやかなつながりの意味とつなぎ方を考える
4. 講 師 澤岡 詩野 氏（公益財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団 主任研究員）
5. 対 象 者 (1) 区内地域包括支援センターに従事している社会福祉士
 (2) 区内地域包括支援センター職員で、管理者が推薦する方
 ※社会福祉士以外もご受講いただけます。
6. 定 員 40名
7. 申込方法 研修センターホームページからお申込みください。
8. 申込期限 令和3年12月14日（火）

<本件担当>

世田谷区福祉人材育成・研修センター 担当:枝・中村

電話:6379-4280 FAX:6379-4281

t_eda@setagayaj.or.jp